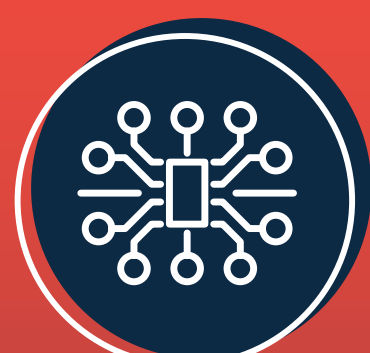


デジタル変革が加速する中 ネットワークが足かせとなっていませんか

アフターコロナの世界に備え、経営陣は IoT やクラウドなどへの投資を増やしている中で、物流や在庫管理、顧客対応などは、急速にデジタル化しています。



58%

のビジネス取引はデジタルに移行しており、コロナ前の 2019 年の **36%** よりも上昇しています¹。



150 億

以上の IoT デバイスが、2029 年までに企業のインフラストラクチャに接続されます²。



パブリック・クラウド費用は 2021 年に

3050 億

ドルに到達し、2020 年から前年比 18.4% の上昇³となります。



63%

のモバイル・トラフィックが Wi-Fi にオフロード⁴、無線への依存が上昇。

昨日のネットワークでは明日の需要に対応できません

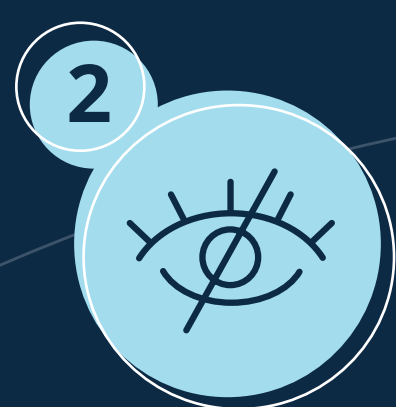
ネットワークは、新しいデジタル体験を顧客、従業員、ゲストに提供する中心的役割を担い続けます。しかし、より複雑になるネットワーク、古くなったハードウェア、十分でない IT オペレーター・エクスペリエンス、増加する TCO はビジネス目標達成の妨げになります。



1 手動のオペレーションは停止リスクを増加

26%

のネットワーク問題はヒューマン・エラーによるものです⁵。



2 ネットワークの可視性とアジリティは制限

64%

の企業は現在も 4~10 のツールを使用してネットワークの監視・トラブルシューティングを行っています⁶。



3 IT 部門はより戦略的な活動に集中できない

57%

のネットワーク管理者の時間は、パフォーマンス問題の対応または防止に費やされています⁷。

これらの問題は、連鎖的に作用し、ドミノ方式でビジネスに影響を及ぼします。

新しい IT サービスの提供が遅れがちになる

アプリケーションと他のデジタルサービスのパフォーマンスが低下

ユーザー・エクスペリエンスが低下し、従業員と顧客いづれにも悪影響が出始める

生産性と収益の低下により、ビジネスパフォーマンスが悪化

結果としてネットワークとビジネスに莫大な **TCO** が発生

統合ネットワークが必要な理由

ブランチ、キャンパス、在宅勤務環境、データセンターの拠点において、有線、無線、WAN に広がり、すべてが単一のコントロール・ポイントから管理できる、共通のアーキテクチャをベースにした高パフォーマンスの統合ネットワークは、IT オペレーションを簡素化し、費用を削減できます。



単一のアーキテクチャでネットワークを簡素化

エンド・ツー・エンドのアーキテクチャを導入してネットワークの相互運用性を向上、パフォーマンス制約を排除、すべてのドメインにおける一貫したオペレーター・エクスペリエンスを提供。



単一のコントロール・ポイントで IT アジリティを向上

一元的なオーケストレーションは、オペレーターに、単一の管理コンソールからネットワークを簡単に導入、保護、最適化するために必要なすべてを提供することにより、IT 効率を向上させます。



ユーザー・エクスペリエンスの強化

クライアント視点の監視と自己修復型 AIOps により、新しいレベルのインサイトを取得してパフォーマンスを最適化、ユーザー・エクスペリエンスを向上。



運用コストを削減

エラー、再作業、オンサイトでの介入、ヘルプデスク・チケットの削減。IT スタッフにビジネスへの価値を提供する時間をさらに割り当て、ネットワークの手動メンテナンスの時間を減らします。

Aruba の違い

Aruba の統合ネットワークは、新しいレベルのシンプルな IT、アシュアランス、パフォーマンスを提供し、企業が未来のデジタルに対応し、待ち構える不確実性に備えることができます。



56%

3 年間 TCO 削減率



90%

平均問題解決時間の高速化



30k

削減されたユーザーに影響するインシデント件数



25%

ネットワーク容量の上昇率

Aruba による統合ネットワークの詳細と開始する方法をご覧ください。

詳細はこちら [➔](#)